

成人おめでとうございます
平成28年原村成人式



1月3日、中央公民館で平成28年原村成人式が執り行われました。式には、新成人78人中、60人(男29人、女31人)の出席がありました。

五味村長は、「これまで支えられてきた人との関わりを自分の宝として、身のまわりや社会に関心を持ってもらいたい。美しい村を今後も皆さんの拠り所として、精一杯若者らしく活躍してってください。」と激励しました。これを受け、新成人代表のあいさつでは、清水創さんが「多くの情報が行き交い先が不透明な社会に出ていくうえで、『夢を持つこと』を大切にしていきたい。夢への執念という1本の軸を持つことで、壁・挫折にも屈しない成人として義務や責任を果たしていきたい。」と述べました。



続いて、坂口佳帆さんは、「原村を出て初めて1人暮らしをした時、両親から届く村の野菜や星空に励まされました。この村や支えてくれた人々への感謝を忘れずに頑張ります」と、成人としての抱負を述べました。

式典終了後には、成人式実行委員会主催の祝賀会が開催され、再会を喜び近況を報告し合う姿が見られました。



図書館クリスマス会

12月19日、図書館でクリスマス会が開催され、参加者は一足早いクリスマスを楽しみました。最後に行われたパネルシアターでは、暗くなった会場内で物語に併せて並べられたサンタや天使が、ブラックライトに照らされて綺麗に浮かび上がりました。子どもたちからは歓声があがり、歌も交えながらクリスマスの由来について学びました。



ジュニア教室で蕎麦打ち体験

12月19日、中央公民館でジュニア教室が行われ、原小学生12名がそば打ちを体験しました。そば打ちの達人からコツを聞きながら熱心にそばをこね、伸ばしたり切ったりと慣れない作業に苦戦しながらも一生懸命作っていました。子どもたちは、太さは多少不揃いでも、できあがったそばを「おいしい、おいしい」と友達と競うようにして食べました。



CM大賞最終審査会

12月6日、長野朝日放送主催「CM大賞NAGANO」の最終審査会が長野市で開催されました。15回目となる今回は、全応募作品92作品中、23作品が最終審査に進みました。原村からもCMを制作した職員が出席し、審査員を前にCMの見どころや村の魅力をPRし、奨励賞を受賞しました。→

なお、応募作品は、長野朝日放送番組ホームページでご覧になることができます。

税の作文コンクール表彰式



11月25日、中学生の「税についての作文コンクール」表彰式が行われ、原中学校の生徒6名に表彰状が贈られました。五味村長は「作文を通して税について考え、理解した経験を将来に活かしてほしい」とお祝いの言葉を贈りました。受賞者は次の通りです。

- ◆諏訪納税貯蓄組合連合会長賞 堀内 柚音さん
- ◆原村長賞 猿田 雄一郎さん 鎌倉 未有さん
小松 芽生さん 荒井 菜々風さん
今野 まいなさん

村長と話し合う日
中高生が村長と懇談



11月20日、村内在住の中高生有志7人が原村役場を訪れ、五味村長と懇談しました。日頃から諏訪地方の活動に積極的に参画しており、自分たちの地元の将来も考えてみよう—と今回の懇談を希望したとのこと。懇談では、学生が集える場所の提供、公共交通のあり方、村の各種イベントへ若者が参加できる機会を設ける等、今後の村づくりについて若者の視点から様々な提案が出されました。五味村長と高校生らは、これらの提案が実現できるよう、以降も話し合いを重ねていきます。



保育園 お楽しみ会

12月9日～11日の3日間、保育園でお楽しみ会が行われました。園児たちは、歌と合奏で訪れた保護者を歓迎し、今日まで一生懸命練習してきた演劇を発表しました。個性溢れる手作りの衣装を身にまとった園児たちが元気の発表を見せてくれました。長い台詞もすらすらと話し、すっかり童話のキャラクターになりきっているようでした。

